

令和7年度 第2回扶桑町地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和7年12月22日（月）午前10：00～

場所：扶桑町役場2階大会議室

出席者：〈委員〉18名中16名

中部大学教授《会長》	磯部 友彦
犬山タクシー株式会社	長屋 涼
公益社団法人愛知県バス協会	小林 裕之
愛知県タクシー協会	松浦 秀則
犬山タクシー株式会社	永川 博之
扶桑町老人クラブ連合会	間宮 進示
扶桑町身体障害者福社会	源口 千秋
扶桑町山那地区	大滝 雅男
扶桑町北新田地区	長瀬 直子
国土交通省 中部運輸局愛知運輸支局	原田 光一郎（代理 小田 春樹）
愛知県都市・交通局	石屋 義道（代理 森本 恭平）
愛知県犬山警察署	佐々木 信祐
扶桑町副町長《副会長》	北折 廣幸
名古屋鉄道株式会社	高井 勇輔（代理 夫馬 康昌）
社会福祉法人扶桑町社会福祉協議会	安井 友貴
株式会社アイシン	杉山 仁

〈説明者〉2名

犬山市市民部防災交通課	吉野 勲
犬山市市民部防災交通課	加藤 総一

〈事務局〉5名

扶桑町長	鯖瀬 武
生活安全部長	長谷川 明夫
生活安全部 地域協働課 課長	兼松 孝行
生活安全部 地域協働課 主幹	奥田 敏弘
生活安全部 地域協働課 主査	横井 航太

会議資料：資料1-1「チョイソコふそう」本格運行結果報告

（2024年10月～2025年9月）

資料1-2 チョイソコイベント実績報告書

資料1-3 「チョイソコふそう」本格運行第2期運行計画

（2025年10月～2026年9月）

資料1-4 追加・廃止停留所について

資料2 令和7年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
（及び地域公共交通計画の評価結果）概要（全体）

資料3 令和8年度扶桑町地域公共交通会議予算（案）

資料4 わん丸君バス（犬山市コミュニティバス）再編について

1 開会

- <事務局> 開会の挨拶を行う。
- <町長> 挨拶及び委員の委嘱を行う。(退席)
- <事務局> 扶桑町地域公共交通会議の委員数18名に対し、本日は16名が出席されている。過半数を超えているので、本日の会議が成立していることを宣言する。代理出席と説明者の出席を報告。傍聴者への説明、配布資料の確認を行う。
地域公共交通会議設置条例に基づき、会長及び副会長を互選にて選出する。
- <安井委員> 会長に磯部委員を推薦する。
- <委員> 異議なし。
- <磯部会長> 副会長に北折委員を選出する。
- <委員> 異議なし。
- <磯部会長> 議事録署名者に犬山タクシー株式会社永川委員、株式会社アイシン杉山委員を指名。

2 議題

(1) 報告事項

① チョイソコふそう本格運行(第1期)結果及び本格運行(第2期)運行計画について

- <事務局> 事務局奥田主幹より資料1-1~1-4に沿って説明する。
- <杉山委員> チョイソコのイベント実績について、集客が減っている現状。周知方法の検討は進めていくが、委員の皆様もご協力いただきたい。繰り返し同じイベントではなく、新しいものを望まれるのであれば検討していきたい。
- <夫馬代理> 資料1-3について、江南厚生病院への1年間の時間帯、月別の件数を教えていただきたい。
- <事務局> 江南厚生病院の件数については、毎月集計して江南市へ情報提供している。現在、手元に資料がないため概数にはなるが、毎月乗降で

140～170件の間を推移している。

半数が往復、半数が片道という数字となっており、行きはチョイソコ、帰りは何らかの方法で帰られるという状況が増えている。

<磯部会長> 現在、予約不成立が悩ましい問題となっている。資料1-1の使い方として、混んでいる時間帯や曜日などを公開することで利用者に予約の取り方を考えてもらうきっかけになればと思う。すでにやっているかもしれないが、事務局としてデータの活用方法の考えはあるか。

<事務局> 資料10ページ、図14で予約不成立について掲載しているが、午前中に予約不成立が多いことが顕著に表れている。病院であれば時間が不透明であるためタクシーを使っていた方法もご案内しているが、買い物等であれば午後からの予約が取りやすいと案内している。

<小田代理> 資料7ページ目の予約時期について、2日以上前に予約を取る方が増えているという状況を見ると、午前中の混み合う時間をみんなで取り合っている印象を受けたが、やはり電話であれば2週間前、インターネットであれば1週間前に予約を取る人は実際にいるのか。

<事務局> リピーターの方は早めに予約を取られる傾向にある。特に病院に行く人は毎週決まった曜日に予約を取られることが多いため、データを見るとすぐに表れる状況になっている。

<小田代理> 予約の取り方が標準化すると予約不成立割合も下がってくると思われるため、さらに工夫していただきたい。

(2) 協議事項

① 地域公共交通確保維持改善事業に関する令和7年度事業評価について

<事務局> 事務局奥田主幹より、資料2について説明する。

<小田代理> 補足として、改めて事業評価の主旨をご説明したい。以前は、公共交通自体が事業者任せだったが、免許返納や免許を取得する人の割合が増えていることや人口減少を要因として、自治体を中心として、公共交通をみんなで考えるというのが公共交通の現状の考え方である。

令和2年に地域交通法において、市町村ごとに地域公共交通計画を定めることが努力義務になった。PDCAプランを実施し、より改善維持に努めるという内容となっており、今回はこの計画に対するチェックのタイミングであったためご説明いただいた。目標や内容につ

いても、公共交通会議の委員の方々に対策など意見を出し合って考える場として捉えていただければよい。

少しわかりにくいですが、地域内フィーダー系統確保維持事業という形で国の補助金を活用している。扶桑町でいうと、名鉄電車が走っている周辺の公共交通としてチョイソコ扶桑を導入しているが、そこに対して一部国の補助を出しており、維持改善の補助事業と位置づけて実施している。

別添1のとおり目標を立て、結果を報告し今後どのように進めていくかを検討していく段階と捉えていただき、ご不明な点があればご質問いただきたい。

<夫馬代理>

別添1の⑤について、デマンド交通の利用者数目標は1日51人、実績57人と記載がある。また、資料1-1の6ページに1日当たりの利用者数推移のところの利用目標件数が記載されており、54のところは線が引いてあるが、目標というのはどの数字が正しく、また、人数で表記しているのか件数で表記しているのか教えていただきたい。

<事務局>

国の方に提出している地域公共交通計画の当初目標は51件だが、扶桑町内部の設定の目標値と比較すると会計年度（4月から3月）での数字と、バス事業年度の数値で異なる部分がある。

事業報告として提出する場合は、その計画で設定した目標人数及び件数を出しており、人数＝件数という形で表記している。

公共交通計画の自己評価で令和6年6月に提出しているものでは目標値として51件と記載している。

チョイソコ自体の公共交通計画には単独では記載されておらず名鉄の数字も合わせて目標値として20,200人という数値を記載している。

54件は扶桑町内部設定の数字であり、本来は51件が正しいため訂正させていただく。

<森本代理>

3ページに具体的な取り組みが記載されていますが、様子がわかるような写真等を掲載していただけるとわかりやすいのでは。

次に、5ページの課題への対策という部分で、扶桑町として新規スポンサーは開拓し尽くしてしまっているのか、まだチャンスがあるのかどのような感触を持っているか。

また、予約不成立の課題はとても大きいのではと考えているが、自分自身は扶桑町民ではないためチョイソコを利用したことはないが、実際に使われている方で予約不成立の体験談を聞かせていただきたい。

- <事務局> 写真の件はおっしゃるとおりであるため掲載する。
新規スポンサーについては、町としてはまだ開拓の余地があると感じているため、アイシンと連携し、開拓を進めていきたい。
- <源口委員> 自分自身、一種一級の障害者であり江南厚生に通院しているが、年8回のうち3回、概ね4割程度は予約不成立が発生している。
チョイソコ事業としては、需要に対して供給があるのは良いことだが、少し不成立が多いなと感じている。
また、予約を取る際に毎回帰りの時間を確認されるが、病院は診察が込み合うこともあり時間がわからないと言っているのに何回も確認されるため、工夫が必要だと感じている。
最後に、夜の扶桑駅は送り迎えなど多くの車両が停車しているが、町内には残念ながら送り迎えもできないご家庭もあるため、その時間にチョイソコが稼働していないのはインフラ整備の視点から疑問を感じる。
- <小田代理> 江南厚生病院の需要が非常に高いことは今実際の声をいただいたことから読み取れるが、イオンモール扶桑も上位に位置している。行動プランなどを作成してみてはどうか。
- <事務局> 主として医療機関や商業施設が上位に位置している。
医療機関では診察の予約等時間の調整が難しいが、いただいたご意見も含めて、アイシンやスポンサーの皆様と連携しながら午後の外出促進について検討していきたい。
- <北折副会長> 色々住民の方からご意見をいただくこともあるが、昼間にボランティア活動や社会福祉協議会などに行く際には非常に使いやすいというご意見はいただいている。
また、駅に行けるようになったことで名古屋の方にも出かけるようになった方もいたため、チョイソコのイベントも町内に限らず、幅広く考える必要があると感じた。
- <磯部会長> この件について、承認してよろしいか。
- <委員> 異議なし

② 令和8年度扶桑町地域公共交通会議予算（案）

- 【事務局】 事務局横井主査より資料3に沿って説明する。
- 【磯部会長】 この件について、承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

3 その他

(1) 犬山市コミュニティバス「わん丸君バス」の延伸について

<吉野氏> 犬山市民の方から、マックスバリュへ買い物に行きたいという声があり、犬山市としても、市町の境ではなく「住民の生活圏」という認識から乗り入れについてお伺いするもの。

<加藤氏> 資料4について説明。

<事務局> 令和8年5月の運賃協議会で諮らせていただく予定をしているが、前月4月頃を目途に運賃についてのパブリックコメントを実施する予定。

<委員> 意見なし。

4 閉会

【事務局】 閉会の挨拶を行う。

令和 8 年 1 月 21 日

本書は、令和7年12月22日に開催された扶桑町地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 永川博之

署名人 杉山 仁